

催し

■競輪選手と触れ合おう

【日時】8月9日(日)、午前10時～午後3時

【会場】サテライト石鳥谷

【内容】競輪選手による自転車乗り方教室、アンダーエイジお笑いライブ、自転車かき氷機によるかき氷販売、軽食販売ほか

【問い合わせ】サテライト石鳥谷(☎46-1188)

■総合文化財センター企画展「三陸の縄文ムラ 堂の前貝塚展」

陸前高田市の縄文時代遺跡「堂の前貝塚」について、さまざまな出土品や写真パネルで紹介します。



【会期】7月18日(土)～9月27日(日)、午前9時～午後5時

【会場】総合文化財センター

【問い合わせ】総合文化財センター(☎29-4567)

まなび

■普通救命講習Ⅲ

【日時】8月15日(土)、午前9時～正午

【会場】花巻北消防署

【内容】小児や乳児、新生児へのAED(自動体外式除細動器)の使い方、止血法、傷病者の管理法など

【定員】20人(先着順)

【申込開始日】7月20日(月)

【受講料】無料

【問い合わせ・申し込み】花巻中央消防署(☎22-6124)、東和分署(☎42-2119)、花巻北消防署(☎45-2119)、大迫分署(☎48-2030)

■語学講座

①「ウンジョンさんと『すぐ会話ができる韓国語』～今の韓国が分かる～」

韓国の語学や文化、トレンドについて楽しく学べます。

【日程】8月19日～10月21日の毎週水曜日(9月23日・30日を除く)、全8回、午後2時～3時30分

【対象】韓国語の基礎が分かる市民

【受講料】1,000円(テキスト代)

②定住外国人支援「日本語講座・Japanese Language Course」

日常会話を中心とした日本語講座です。

【日程】8月22日～10月17日の毎週土曜日(9月26日を除く)、全8回、午前10時～午後11時30分

【対象】市内在住の外国出身者

【受講料】無料

①②共通

【会場】花巻市交流会館

【定員】15人(先着順)

【申込開始日】7月22日(水)

【申し込み方法】電話またはファクス、電子メールで下記へ

※ファクス、電子メールの場合は

受講者の①氏名②連絡先を明記

【問い合わせ・申し込み】花巻国際交流協会(☎26-5833 FAX26-5855 ✉kokusai_staff_c@ext.city.hanamaki.iwate.jp)

■花巻ポラーノ倶楽部

「パラコードフレスレット」

アウトドア用のひもを使ってフレスレットを作ります。

【対象】35歳未満の勤労青少年

【日時】8月18日(火)、午後7時～9時

【会場】勤労青少年ホーム

【受講料】1,000円(材料代)

※ポラーノ会への会員登録(年会費1,000円)が必要です

【申込期限】8月15日(土)

【問い合わせ・申し込み】勤労青少年ホーム(☎23-4839)

募集

■市営住宅入居者の募集

団地名	戸数	間取り	入居対象
緑ヶ丘	2戸	2DK	一般
本館	1戸	3DK	一般・単身
本館	2戸	1LDK	一般
百ノ沢	2戸	2LDK	一般

【締め切り日】7月31日(金)

【入居の決定】抽選により決定

※上記以外に、入居者を随時募集している市営住宅や定住促進住宅(新堀住宅)があります。詳しくは下記へ

【問い合わせ・申し込み】花巻市営住宅管理センター(☎21-3100)

市民伝言板

■第4回 宮沢賢治やまなし祭

童話「やまなし」の朗読や谷川賢作氏作曲「やまなし讃歌」の合唱を行い、賢治の「自然との共生」の想いを共有します。

【日時】8月2日(日)、午前10時

【会場】宮沢賢治やまなし園(石鳥谷町大瀬川11地割地内)

※申し込み不要です

【問い合わせ】石鳥谷賢治の会事務局 中村萬敬(☎090-5232-1789)

■市民将棋大会

手軽に楽しめる将棋大会を開催します。将棋愛好家の皆さんの参加をお待ちしています。

【対象】市民または市内に通勤・通学している人

【日時】8月9日(日)、午前10時～午後3時30分

【会場】まなび学園

【参加料】一般 1,000円、学生 500円(昼食代など)

※申し込み不要です

【問い合わせ】花巻市将棋同好会 佐藤宗典(☎24-1263)

賢治と盛岡中学校(現在の県立盛岡第一高校)時代に同級生で親友だった阿部孝は、鼈幣稲荷神社の神主を代々務める家の長男でした。孝が東京帝国大学(現在の東京大学)に在学中、彼の下宿先で、萩原朔太郎の詩集「月に吠える」と出会ったことが、詩人・宮沢賢治の誕生に大きな影響を与えたといわれています。賢治は孝が帰省するたびに彼の家を訪ね、作品の批評を求めてはさまざまなことを語り合ったそうです。

賢治ゆかりの地
石神町・鼈幣稲荷神社周辺
第39回



▲阿部孝が住んでいた鼈幣稲荷神社(本殿は市指定有形文化財)
▶童話「さいかち淵」の草稿が刻まれた石碑(石神町)

また、童話「さいかち淵」風の又三郎」の舞台になったといわれる淵水深が深くなっている所が豊沢川の下流にありました。中根子の道地橋の近くに、この淵を説明する石柱が、石神町内には童話「さいかち淵」の草稿の一部が彫られた石碑が建っています。中根子の延命寺には詩「地藏堂の五本の巨杉が」に登場する杉が今も残り、石柱と詩碑を見ることが出来ます。

＊おわびと訂正

広報はなまき5月15日号で紹介した四本杉の伐採された年は「昭和52(1977)年」の誤りでした。おわびして訂正します。

【問い合わせ】

本庁賢治まちづくり課
(☎24-2111内線365)

わたしたちの地域づくり

次世代へ継ぐまちづくり

八幡まちづくり協議会は、地域の活性化に向けて課題の解決を図り、明るく住みよい社会の構築を目指して地域づくりに取り組んでいます。

平成22年から始めた田んぼアート事業では、地域内外の子どもからお年寄りまで多くの人が集まり、キャンパスに見立てた田んぼに、色の異なる稲を植えて巨大な絵や文字を描きます。ことしは、花巻の代表的な伝統芸能「鹿踊」の絵に、地域のつながりを太鼓の音とともに次世代へつなげていこうという思いを込めて「ひびけ未来へ!」のメッセージを添えています。6月7日に田植えをした田んぼアートは、日々色合いが変化し、7月末ごろをピークに10月上旬の稲刈りまで楽しめます。

また、世代間交流事業では、地域の子どもたちと保護者、お年寄りの三世代が集い、昔

遊びやゲーム、読み聞かせ、そしてみんなで作った餅や団子と一緒に食べながら楽しい一日を過ごします。これからも各事業を通して、地域の活性化と交流をさらに深めていきたいと考えています。

●八幡まちづくり協議会

▼世代間交流事業の様子



▲田んぼアートは石鳥谷生涯学習会館駐車場からご覧になれます



【問い合わせ】八幡まちづくり協議会(☎45-3535)